



令和6年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和6年2月9日

上場会社名 株式会社ファルコホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 4671 URL https://www.falco-hd.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 安田 忠史
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理室長 (氏名) 大馬 久幸 TEL 06-7632-6150
 四半期報告書提出予定日 令和6年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年3月期第3四半期の連結業績（令和5年4月1日～令和5年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第3四半期	32,314	△9.9	1,443	△42.5	1,559	△42.1	1,275	△17.2
5年3月期第3四半期	35,878	△1.5	2,509	△33.9	2,692	△33.9	1,540	△39.0

(注) 包括利益 6年3月期第3四半期 1,266百万円 (△30.6%) 5年3月期第3四半期 1,823百万円 (△24.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第3四半期	115.04	114.58
5年3月期第3四半期	146.88	146.23

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年3月期第3四半期	36,868	25,764	69.7
5年3月期	38,893	26,591	68.2

(参考) 自己資本 6年3月期第3四半期 25,685百万円 5年3月期 26,509百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期	—	32.00	—	68.00	100.00
6年3月期	—	40.00	—		
6年3月期(予想)				75.00	115.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有
 2. 令和5年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 32円00銭 特別配当 36円00銭
 3. 令和6年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 40円00銭 特別配当 35円00銭
 4. 配当予想の修正については、本日(令和6年2月9日)公表いたしました「令和6年3月期 配当予想の修正(特別配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 令和6年3月期の連結業績予想（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,700	△11.1	2,000	△35.0	2,100	△36.6	1,300	△42.5	121.81

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無
 2. 当社は令和6年2月9日開催の取締役会において、自己株式の消却について決議いたしました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の消却の影響を考慮しております。なお、当該自己株式の消却については、本日(令和6年2月9日)公表いたしました「自己株式の消却に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	6年3月期3Q	11,280,177株	5年3月期	11,280,177株
② 期末自己株式数	6年3月期3Q	494,281株	5年3月期	57,941株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	6年3月期3Q	11,084,662株	5年3月期3Q	10,487,657株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症（以下、「COVID-19」）の感染症法上の位置付けが第5類に移行し、感染予防のための行動制限が緩和される等社会経済活動の正常化に向けた動きが進みました。一方で、ウクライナ情勢等の地政学的リスクや急激な為替変動が及ぼすエネルギー・原材料等の価格上昇を受け、消費の停滞等、景況感への懸念が広がる不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境は、COVID-19関連検査の受託数が第8波以降大幅に減少している状況にあります。感染を懸念した患者の医療機関への受診控えは解消に向かいつつあるものの、受診頻度の減少等によりCOVID-19関連検査以外の受託検体検査数は、弱含みで推移しており、また、処方箋応需枚数は前年並みに推移しております。

このような事業環境のもと、当社グループは、イノベーションを通して、人々の健康を支え、幸せでいい人生を送っていただける土台となることを目指し、新たな収益の柱の確立、ICTを活用し環境に配慮した事業構造への変革、人財育成、地域社会への貢献等、サステナビリティ経営に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間においては、COVID-19関連検査の大幅な減少及び薬価改定の影響により、売上高は32,314百万円（前年同期比9.9%減）、営業利益は1,443百万円（同42.5%減）、経常利益は1,559百万円（同42.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,275百万円（同17.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、ICT事業については、令和4年7月に株式会社メディサーージュを立ち上げ、診療所向けクラウド型レセプト総合サービス「レセスタ」(※)及びクラウド型電子カルテ「HAYATE/NEO」の販売及び普及が進展し、当社グループの新たな収益の柱として重要度が増したことから、従来の臨床検査事業からセグメントを分離しております。これに伴い第1四半期連結会計期間から報告セグメントの区分を変更し、以下の前年同期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメントに組み替えた数値で比較分析をしております。

(※) レセプト情報を基にした適正な診療・医事業務支援サービス。

① 臨床検査事業

臨床検査事業においては、COVID-19関連検査の売上は受託検査数が大幅に減少したことにより前年同期を著しく下回りました。一方、関連検査以外の検査につきましては、引き続き大都市圏を重点地域とした新規顧客の獲得に努めましたが、受託検査数は感染拡大前の水準には至りませんでした。

体外診断用医薬品「MSI検査キット (FALCO)」につきましては、リンチ症候群診断補助における対象がん種の拡大が承認され、堅調に販売が推移しました。

また、引き続き臨床検査の依頼・集配及び検査、報告の各過程をICT化すること等による抜本的な事業構造の改革を進め、顧客サービスの向上、環境負荷の低減に努めてまいりました。

その結果、臨床検査事業の売上高は19,593百万円（前年同期比16.4%減）、営業利益は1,088百万円（同55.6%減）となりました。

② 調剤薬局事業

調剤薬局事業においては、COVID-19による受診控えは緩和され、処方箋応需枚数は微増となりました。処方箋単価は、薬価改定の影響はあるものの前年同四半期並の水準となりました。調剤薬局店舗数は当第3四半期連結累計期間に1店舗開局し、2店舗閉局したことにより、当第3四半期連結会計期間末において当社グループが運営する調剤薬局等店舗総数は110店舗（フランチャイズ店7店舗含む）となっております。当社グループでは、かかりつけ薬剤師・薬局として求められる役割・機能を果たすとともに、高齢者施設及び在宅を中心とした地域医療との連携を進め、堅実な店舗の運営、既存店舗の処方箋応需の拡大に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は12,005百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益は661百万円（同12.0%増）となりました。

③ ICT事業

ICT事業については、診療所向けクラウド型レセプト総合サービス「レセスタ」は引き続き契約数を伸ばし、クラウド型電子カルテ「HAYATE/NEO」は新規導入数及び保守契約数が増加しました。

その結果、ICT事業の売上高は716百万円（前年同期比52.4%増）、営業利益は71百万円（前年同期は営業損失170百万円）となり、黒字化を達成しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、主に現金及び預金、売上債権が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ2,024百万円減少し、36,868百万円となりました。

負債は、主に長期借入金の返済により、前連結会計年度末に比べ1,197百万円減少し、11,103百万円となりました。

また、純資産は、主に自己株式の取得により、前連結会計年度末に比べ827百万円減少し、25,764百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和6年3月期の連結業績予想につきましては、令和5年8月10日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,603	10,015
受取手形及び売掛金	6,651	6,171
商品及び製品	833	1,272
仕掛品	66	59
原材料及び貯蔵品	556	580
その他	1,996	1,605
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	22,706	19,703
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,435	9,400
減価償却累計額	△4,761	△4,813
建物及び構築物(純額)	4,674	4,586
土地	4,924	5,376
リース資産	1,290	1,296
減価償却累計額	△906	△1,039
リース資産(純額)	383	257
その他	4,395	4,622
減価償却累計額	△3,655	△3,718
その他(純額)	739	903
有形固定資産合計	10,722	11,123
無形固定資産		
のれん	12	24
その他	365	326
無形固定資産合計	378	351
投資その他の資産		
投資有価証券	2,618	3,433
その他	2,471	2,260
貸倒引当金	△5	△4
投資その他の資産合計	5,085	5,689
固定資産合計	16,187	17,164
資産合計	38,893	36,868

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,374	5,155
短期借入金	—	500
1年内返済予定の長期借入金	2,340	—
未払法人税等	181	159
引当金	557	192
その他	2,111	2,549
流動負債合計	9,564	8,556
固定負債		
退職給付に係る負債	1,849	1,810
資産除去債務	134	61
その他	752	675
固定負債合計	2,736	2,547
負債合計	12,301	11,103
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,371	3,371
資本剰余金	3,670	3,669
利益剰余金	19,025	19,097
自己株式	△94	△979
株主資本合計	25,973	25,158
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	535	526
その他の包括利益累計額合計	535	526
新株予約権	82	78
純資産合計	26,591	25,764
負債純資産合計	38,893	36,868

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)
売上高	35,878	32,314
売上原価	24,569	22,599
売上総利益	11,308	9,715
販売費及び一般管理費	8,798	8,271
営業利益	2,509	1,443
営業外収益		
受取配当金	115	91
貸倒引当金戻入額	0	1
その他	89	65
営業外収益合計	205	157
営業外費用		
支払利息	14	6
支払手数料	4	4
保険解約損	0	11
その他	3	18
営業外費用合計	22	41
経常利益	2,692	1,559
特別利益		
投資有価証券売却益	142	346
固定資産売却益	—	1
資産除去債務戻入益	—	68
特別利益合計	142	415
特別損失		
固定資産除却損	5	16
投資有価証券評価損	18	—
減損損失	110	0
事務所移転費用	—	8
特別損失合計	134	24
税金等調整前四半期純利益	2,701	1,950
法人税、住民税及び事業税	1,098	661
法人税等調整額	62	14
法人税等合計	1,160	675
四半期純利益	1,540	1,275
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,540	1,275

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)
四半期純利益	1,540	1,275
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	282	△9
その他の包括利益合計	282	△9
四半期包括利益	1,823	1,266
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,823	1,266

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	ICT事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,422	11,985	469	35,878	—	35,878
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	0	—	6	△6	—
計	23,427	11,986	469	35,884	△6	35,878
セグメント利益又は損失 (△)	2,452	590	△170	2,872	△362	2,509

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△362百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△909百万円及び内部取引の消去に伴う調整額547百万円が含まれております。全社費用は、主に人事・経理部門等の管理費用及び建物の減価償却費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	ICT事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,593	12,004	716	32,314	—	32,314
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	0	—	0	△0	—
計	19,593	12,005	716	32,315	△0	32,314
セグメント利益	1,088	661	71	1,821	△377	1,443

(注) 1. セグメント利益の調整額△377百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△940百万円及び内部取引の消去に伴う調整額562百万円が含まれております。全社費用は、主に人事・経理部門等の管理費用及び建物の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

ICT事業については、令和4年7月に株式会社メディサーヂュを立ち上げ、診療所向けクラウド型レセプト総合サービス「レセスタ」及びクラウド型電子カルテ「HAYATE/NEO」の販売及び普及が進展し、当社グループの新たな収益の柱として重要度が増したことから、従来の臨床検査事業からセグメントを分離しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。